

施政概要(案)

平成25年第4回(12月)定例会

四街道市

※ 予定事項等が含まれていることや11月20日時点の内容であることから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、平成25年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議の上、ご認定くださるようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、ごみ処理施設については、みそら自治会及び山梨地区3地区に対し現施設の継続操業の協議をお願いしているところです。10月12日にはみそら自治会役員会の場で協議依頼に対する質疑にお答えするほか、意見交換を行いました。引き続き、現施設の継続的な操業を認めていただけるよう鋭意努力してまいります。

新たな総合計画の策定については、様々な形で行ってまいりました市民参加の中でいただきましたご意見を十分に踏まえながら、新たな総合計画の案を作成したところです。今後、議員の皆様にご説明させていただき、パブリックコメントを実施した上で、平成26年の市議会第1回定例会に、四街道市基本構想(案)及び四街道市前期基本計画(案)として、議案を提案させていただく予定です。

「未来のまちづくり 36のアクション」については、私の1期目の任期の4年間に合わせ、22年度から市民生活を第一に考えた計画として市民の皆様にご提示し、推進してまいりました。本年度が、計画の最終年度となりますが、この4年間の取組として、特に重点的に取り組んでまいりました子育て支援策をはじめ、44事業中、9割程度の事業が計画どおりの目標を達成できるものと見込んでいるところであり、市民の皆様にもその成果を感じていただいているものと考えています。

災害対応・防災対策の再構築に向けた取組については、新たな地域防災計画の策定に向け、市民参加条例に基づく地域防災計画検討市民会議を9月及び11月に開催し、市民の皆様からご意見やご提案をいただいたところです。今後は、いただきましたご意見を十分に踏まえながら、策定作業を進めてまいります。

行財政改革については、行財政改革審議会での意見等を踏まえ、第7次行財政改革推進計画(案)を作成したところです。今後は、パブリックコメントを実施した上で、本年度中の策定を目指し、作業を進めてまいります。

市庁舎の整備については、四街道市庁舎整備基本計画(案)のパブリックコメントを9月から10月にかけて実施したところです。今後は、いただきましたご意見を踏まえるとともに、市議会の市庁舎整備調査特別委員会からもご意見をいただきながら、効果的な耐震化と効率的な整備の早期実施に向け、基本計画の策定作業を進めてまいります。

11月8日に「羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会」が開かれ、国土交通省から、発着枠の柔軟化と南風好天時の北側ルート的高度引き上げについて提案がありました。南風好天時の北側ルート的高度の引き上げについては、今回の提案では500フィートの引き上げが示されました。協議会では、11月19日に国土交通省に対し、発着枠の柔軟化は受け入れることができないことや、北側ルートのさらなる高度引き上げと飛行ルートの分散化などについて緊急要望を行いました。

11月1日に行いました市表彰式では、功労表彰として11名の方々の表彰を行いました。受賞された皆様におかれましては、今後とも一層のご活躍を祈念申し上げる次第です。

続きまして、主要施策の概要について申し上げます。

【分野別の施策】

「教育と文化が花開くまち」の分野でございますが、学校教育については、「命の教育」の推進に向け、11月11日から12月10日の「人権デー」までを期間として、「いじめ撲滅キャンペーン」を実施し、児童生徒、保護者及び教職員を対象に啓発資料の配布や相談機関の周知等を行うとともに、各学校では、差別やいじめを許さない学校づくりに向け、実態に即しいじめ撲滅の取組を展開しています。また、確かな学力の育成のため、10月から11月にかけて、全ての小中学校において、公開授業を展開し、校内研修の充実を図るとともに、学校の要請に応じて指導主事を派遣し、教員の指導力向上に向けた指導及び助言を行いました。

学校施設の整備・充実では、栗山小学校において、校舎の2階部分の躯体工事を進めています。

社会教育については、10月27日から恒例の市民文化祭を開催し、文化団体の各種発表会等を実施したほか、11月8日には、児童生徒作品展特別表彰式と文化講演会を行い盛会裏に終了しました。

図書館の整備・サービスの充実では、読書活動の推進を図るとともに、資源循環型社会に資することを目的として、除籍した雑誌や本を市民等に無償で提供する「図書館資料のリサイクル」に向け、準備を進めています。

公民館の整備・充実では、四街道公民館において、11月1日から来年3月までの期間、耐震補強工事、トイレ改修工事及びエレベーター設置工事を実施するため、休館としています。

生涯スポーツについては、体育の日の行事として、10月12日に総合公園体育館を主会場に「スポーツ de 健康大作戦」を開催し、各プログラムに多くの市民のご参加をいただきました。

また、11月17日に開催しました「第16回四街道ガス灯ロードレース大会」では、4,000名を超える参加申込みをいただき、本市最大のスポーツイベントは盛会裏に終了しました。

「環境との共生を進めるまち」の分野でございますが、共生型社会づくりについては、第2次環境基本計画の策定に向け、11月1日に環境審議会を開催し、基本計画の素案について意見を伺いました。引き続き、本年度中の策定を目指し、作業を進めてまいります。

防犯灯のLED照明への更新事業では、10月から交換工事に着手し、来年2月の完了を目指して作業を進めています。

公園・緑地については、快適な利用と安全の確保のため、四街道総合公園テニスコートの改修工事を実施しています。来年1月からの利用再開に向け、鋭意取り組んでいるところです。

また、栗山みどりの保全事業では、来年1月からの水田周辺区域の一部供用開始を目指し、休耕田の活用に向けた復元工事を進めています。

環境保全・衛生については、市営霊園において、合葬式墓地の合同埋蔵施設の整備が完了したことから、今後は、施設に関する条例等の整備に向け、パブリックコメントを実施するなど、供用開始に向けた準備を進めてまいります。

「ゆとりと安全を実感できるまち」の分野でございますが、生活基盤については、排水対策として、四街道36号線ほか2路線の排水溝整備工事及び東部排水路の改修工事を発注しました。

溢水対策では、小名木雨水4号幹線枝線のJR軌道横断工事に関する協定に基づき、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社により、軌道内の支障物の調査等が着手されました。また、さちが丘地先における小名木雨水5号幹線の整備に向け、実施設計を発注しました。

公共下水道事業では、物井地区の面的な整備を図るため、物井汚水1号幹線

枝線管渠築造工事を発注しました。また、下水道長寿命化計画については、今後の施設の改善計画を踏まえながら、本年度中の策定に向け、9月に業務委託契約を締結し、取組を進めているところです。

水道事業では、安全性と安定した給水を確保するため、四街道2丁目地先ほか4か所において、老朽管更新の配水改善工事を発注しました。

防災・安全については、福祉避難所に関する協定を千葉県立千葉盲学校及び市内7か所の民間施設と締結しました。現在、市内9施設と協定を締結しています。

救急体制の強化では、増加する救急需要に対応するため、救急隊員の増員に向け、来年1月に職員4名を千葉県消防学校に派遣する予定です。本年度は、この4名を含め、合計6名の救急隊員を養成するものとなります。

消防団については、災害対応能力の向上に向け、10月12日に旭分署において、地震による建物の倒壊を想定した救出訓練を実施しました。

防犯体制の整備では、犯罪の抑止を目的に防犯カメラの設置工事を発注しました。来年2月までに防犯カメラ30基の設置を進めてまいります。なお、この設置により、昨年度設置分と合わせ、市内で合計64基が設置されるものとなります。

消費者保護については、市産業まつりに合わせて、第2会場で「くらしに活かそう 消費者の知恵」と題して消費生活展を開催するなど、啓発活動に努めています。

「生涯安心して暮らせるまち」の分野でございますが、健康づくりについては、四街道市自殺対策連絡会議の第2回会議を10月に開催し、構成メンバーである市及び関係機関の職員等の資質向上と連携強化を目的に、自殺の兆候に気付き、適切な対応を図ることができる、ゲートキーパーの研修を実施しました。本年度中にさらに2回研修会を開催し、自殺防止対策の強化に取り組んでまいります。

子ども家庭福祉については、「みそら小こどもルーム」の26年4月開所に向け、建築工事発注の準備を進めています。この整備により、小学校全校にこどもルームが設置されるものとなります。

また、来年度策定を予定する「子ども・子育て支援事業計画」に関し、対象者を中心に施設や保育サービスの利用に関する意向を把握するため、12月にかけて利用希望調査を実施します。

なお、本年度、ファミリー・サポート・センターが開設10周年を迎えることから、記念事業として、11月30日に文化センターで、事例発表会とファミリーコンサートを開催します。ファミリー・サポート・センターの周知を図

ることにより、一層の会員増加を目指してまいります。

「活力と魅力が躍動するまち」の分野でございますが、道路交通については、交通の円滑化と安全確保のため、大日萱橋台7号線ほか6路線の舗装修繕工事を発注しました。また、旭中学校通学路である山梨11号線及び山梨南波佐間線の道路改良工事は、年内の完成を予定しています。

大日五差路改良事業では、道路用地の境界が確定し、物件調査を進めているところです。

都市計画道路の整備では、3・3・1号山梨臼井線整備事業において、引き続き用地取得に努めるとともに、副道造成工事及び付帯工事を発注しました。また、橋脚工事の発注に向け、準備を進めています。

公共交通関係では、3月に運行内容を変更し、新たな運行を開始したヨッピーについて、変更後の利用者の満足度やニーズ等を把握するため、10月にアンケート調査を実施しました。この調査結果等を踏まえ、地域公共交通会議での検証を行うなど、今後も効果的な運行に努めてまいります。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、雨水地下貯留施設の築造に伴う地盤改良工事の年内完了と本体工事の施工に向け、事業を促進してまいります。

商工業・農林業については、「みつめよう わが町ふるさと 四街道」をテーマに、第37回四街道市産業まつりを11月9日、10日に四街道中央公園を主会場に開催しました。各関係者のご協力の下、農産物や商工業製品の展示、即売等が行われ、盛況裏に終了しました。

「市民協働で歩むまち」の分野でございますが、市民参加については、「みんなで地域づくり事業（コラボ四街道）」の本年度の提案募集が11月15日で終了し、現在、事業提案者と提案内容についての意見交換を行っています。今後、公開プレゼンテーションによる審査を経て、来年度の採択事業を決定してまいります。

男女共同参画については、昨年度実施しました男女共同参画市民意識調査の結果を踏まえ、男女共同参画審議会のご意見をいただきながら、「第3次四街道市男女共同参画推進計画」の策定作業を続けているところです。現在、計画の素案についての検討を行っているところであり、引き続き、本年度中の策定を目指し、作業を進めてまいります。

国際交流については、10月11日に姉妹都市のリバモア市から短期留学生20名と随行者が来市しました。翌12日には、四街道市国際交流協会主催による歓迎パーティーが行われるなど、ホストファミリーをはじめとする多くの

市民との交流が深められました。なお、来年3月には、本市より20名の短期留学生をリバモア市へ派遣する予定で、現在準備を進めています。

行財政については、本年度で指定期間が満了する公の施設の新たな指定管理者の選定に当たり、8月に募集を行い、全施設とも応募をいただきました。市では、指定管理者選定評価委員会の答申を得た上で、本市の公の施設の指定管理者の候補となる団体を決定し、本定例会に指定管理者の指定に係る議案を提案させていただいています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年11月25日

四街道市長 佐 渡 斉